

知って備える 防災メモ

第7回



もし真夜中に地震・津波が発生したら…

平成23年3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生し、揺れと津波によって甚大な被害がもたらされました。今後もしいつ災害が起きるか分かりません。常に迅速な対応ができるよう、日頃から心掛けましょう。

真夜中の災害に備えて



●停電になったときのために

- ・懐中電灯が点灯するか点検し、手の届くところに置いておく
- ・災害の情報を把握するために携帯ラジオ（手回しハンドル充電式が良い）の用意をしておく
- ・予備の乾電池を準備し、保管場所を把握しておく



●素早く避難するために

- ・非常持ち出し袋を用意しておく、避難時にすぐ持ち出せる場所に保管しておく
 - ・あらかじめ、避難する高台避難場所を複数箇所決めておく
 - ・避難経路にある川や海、倒壊する危険性がある電柱や高い建造物などの危険箇所を把握し、迅速な対応ができるようにしておく
- ※非常持ち出し袋には、食料や飲料水、ラジオ、その他の生活用品を3日分ほど入れておきましょう。



問い合わせ

総務グループ

(☎85)1130

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

登別水彩クラブ

『登別水彩クラブ』は、市民活動センター（のぼりん）で開催された『のぼりん文化講座・水彩画教室』の参加者6人が、水彩画を続けたいとの思いから平成22年に結成しました。

会員は現在14人。月3回、木曜日に市民活動センターで和気あいあいと活動しています。

「絵の上達だけでなく、自由で楽しい活動であることを大切にしています」と話すのは会長の辻貞男さん。同クラブでは多彩な行事を企画しており、遠出での野外写生会や泊まりがけでの懇親会には多くのメンバーが参加し、親睦を深めています。結成当時はほとんど全員が初心者でしたが、気の置けない仲間との楽しい活動が結果的に絵



自由に楽しい活動を大切にしています



▲談笑しながら思い思いのモチーフを描く

の上達につながり、ことしの登別美術協会の展示会では2人が入賞を果たしました。

ことし4月に入会した高橋紘臣さんは「良い絵が描ければうれしいし、同じ趣味を持った仲間と共感できるのはそれ以上にうれしいです。ここに来ると気持ちがとても充実します」と、生き生きとした表情で活動の魅力を語ってくれました。

同クラブでは年に3回、市民活動センターで展示会を開催するほか、室蘭のサークルと合同で展示会も企画しています。

辻さんは「ぜひ展示会を見に来てください」と話してくれました。

見学を希望する方は、辻さん(☎85)6615)まで。